

いりょうつうやく　こころえ　じょう 医療通訳の心得10か条

1 正確な通訳が基本

- ・ 足さない・引かない・変えない
- ・ わからない言葉はその場で辞書を引いて確認
- ・ 専門用語は医師にやさしく説明してもらう
- ・ 短く区切ってもらようよう医師にお願いする
- ・ 患者さんの話がつじつまが合わなくてもそのまま訳す

2 基本的な医学知識の習得

- ・ 病気や体の仕組みについての知識を持つ
- ・ 新聞記事、雑誌など常にアンテナをはる
- ・ 難しい専門用語をすべて覚える必要はない

3 プライバシーを守る

- ・ 守秘義務
- ・ 患者さんからの信頼
- ・ 医療スタッフからの信頼
- ・ 病院以外の場所で患者さんに会った時の態度
- ・ 通訳自身のプライバシーも守る

4 患者さんが話しやすい態度を

- ・ 態度や表情に気をつける
- ・ 座る位置
- ・ 身だしなみ

5 自分の意見と患者の訴えを混ぜない

- ・ 文化的背景や習慣については説明してもいい
ラマダン、ハラール食、お産の後の風習など（ただし両者に確認をとる）

6 医療に関わる様々なスタッフの役割を知り、連携をとる

- ・ 病院にはさまざまな専門家がいます
- ・ 患者に相談されたら 専門家につなぐ
カウンセラー、ソーシャルワーカー、NGO の窓口など

7 自分の役割を明確に

- ・ 自分は通訳であることをきちんと伝える
- ・ 通訳をこえた依頼は断る（入院の際の保証人など）

8 ひとりでかかえこまないで、コーディネーターなどに相談する

- ・ 告知や重い病気の通訳をした時、辛い気持ちをひとりでかかえこまない
- ・ 守秘義務があるので他の人には話さない
- ・ 派遣元のスタッフやコーディネーターに相談

9 外国人の使える医療制度についての知識を持つ

- ・ 高額療養費
- ・ 限度額認定証
- ・ 感染症法
- ・ 出産育児一時金

10 健康に留意する

- ・ 自分の免疫力を高める（病院で病気をもらわないように）
- ・ 病気をうつさない（免疫力のおちている患者さんに対して）